



卒後臨床研修ガイド

なぜ当院の研修医は  
大きく成長できるのか

専門性の高い病院で研修するメリット

倉敷成人病センターだから実現！

# 少人数制・手厚い指導が あなたを大きく成長させる！

ポイント

1

## 医師として重要なファーストキャリアを こだわりのプログラムで支援

### カンファレンスや研究会・学会での プレゼン力が向上

国内外で発表経験、受賞歴のある医師が直接指導するところが、当院の大きな特徴です。各科の指導医を中心に（多職種）チームで指導します。少人数制で密度の濃い研修が受けられるため、**先輩研修医（複数名）は、研修医奨励賞を受賞するなど活躍**しています。

### 春と秋、年2回の医学生向けセミナーで 伝える力が向上

研修医が医学生に教える機会を持つことで、**自身の理解を深める**ことができます。

### 自由選択期間6カ月間という こだわりのプログラム

さらに深めたい科を自分で選んで研鑽できる柔軟なシステムです。

### 充実している研修関連施設を賢く選択

倉敷中央病院、川崎医科大学附属病院など、自身で研修先（救急医療および地域医療研修）を選び、学ぶことができます。

「手技や経験を重視し、医師として大きく成長させる」  
倉敷成人病センターでは、そんな臨床研修を目指しています。

医師として基盤となる2年間、  
当院で「医師のはじまり」を共に歩みましょう。  
“長い目でじっくり育てる”指導力の高い医師が、  
あなたを待っています。

ポイント

2

## 当院が世界に誇る、 各科のスペシャリストから直接学べる仕組み

### スペシャリストからの指導で飛躍！

最先端の医療技術を、それに対応するスキルを持った指導医から学べます。

### 特色ある診療科が多数。 他院で研修する同級生の一步先へ

国内トップレベルの腹腔鏡下手術を行う婦人科、年間約1,500件という中国地方随一の分娩数を誇る産科およびそれを支える小児科、高い専門性と技術を有する眼科、OKAYAMAリウマチネットワークの中核病院であるリウマチ膠原病センターなど、**特色ある診療科が揃っています。**

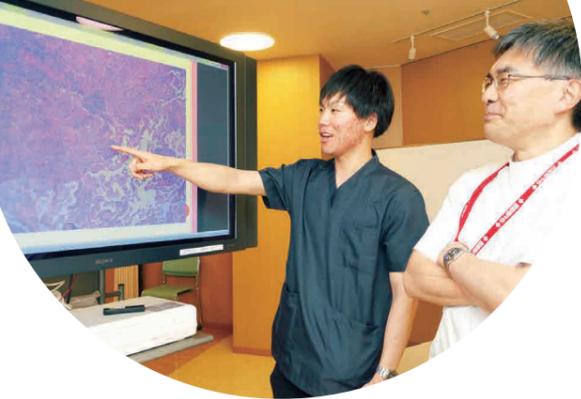
### 指導医だけでなく、 コメディカルからも学べる 風土が根付いています！

多職種カンファレンスで関係性を築き、グラム染色やエコーなど、それぞれの技術の実際を身に付けられる環境があります。

### 産婦人科専門研修プログラムの 基幹施設です！

産婦人科専門医を目指す医師にとって、豊富な症例数と学びの環境が整っていることも強みです。





ポイント  
**3**

## じっくり、みっちり充実！ 研修のための ベストな環境が整っています

### 定員3人の少人数研修ならではの！ 充実のオーダーメイド研修を実現

将来を見据え、それぞれの段階にあった科目を選び、研修することが可能です。研修が進んでいく段階で選択科の変更にも柔軟に対応できるのは、少人数ならではのメリットです。

### 各種研究会や学会などにも参加可能！ 研修医が忙しくなりすぎない環境で学べます

学会、勉強会には多数参加可能です。また参加費の補助もありますので、福利厚生面でも手厚いのが当院の特徴です。1年目から自身の進路に合わせて学会参加する研修医もあり、あなたのやる気をバックアップします。

### 倉敷美観地区まで徒歩圏内という好立地！ ONとOFFを切り替えられる



観光エリアやショッピングエリアが近く、リフレッシュしやすい環境です。

### 最新の機器が導入されている点も 研修医のメリットです！

当院は2013年に内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」を中国の民間病院で初めて導入しました。2017年には血管造影装置（INFX-8000XCシングルプレーン）を一新。学びの環境を整え、皆さんをお待ちしています。



## リアルな感想を公開します！ 先輩研修医に聞く「当院のメリット」



宗田 大二郎 医師

少人数だからこそ、  
多くの症例を経験できる

研修医が少ないからこそ、様々な手技や症例が経験できており、充実した毎日を過ごしています。内科系ならリウマチ膠原病センター、肝臓病治療センター、外科系なら悪性疾患における腹腔鏡下手術の第一人者として世界的にも有名な婦人科の安藤正明院長の手術など、最前線で活躍する先生方からノウハウを学ぶことができます。

外科研修は2カ月で、基本的な外科の手技は一通りできるようになり、希望すれば胃カメラや大腸カメラの見学、一部手技も習得、経験可能です。合併症対策など手術以外でも学ぶ範囲は豊富です。

他科の先生にお願いして内視鏡見学やRFA、PEG造設、リザーバー留置などの手技に参加させていただけるなど、研修医がローテートしない科についても先生方が親切に指導して下さるのも、倉敷成人病センターを選んで良かった点です。



研修年数・所属などは取材当時のものです。

(取材時:2017年)



佐藤 晋平 医師

各科のエキスパートから  
指導を受けスキルアップ

各科が専門性の高い診療を行っており、経験豊富な指導医から、一つひとつの症例に対し、より深く掘り下げて指導してもらえます。私が興味のある婦人科手術の面では、内視鏡手術をはじめ、出産や不妊治療の実績が多く、産婦人科全般でハイレベルな研修が可能です。産婦人科ローテート前から内視鏡手術セミナーやウェットラボ等に参加し、婦人科手術のノウハウを早いうちから学べます。婦人科に限らず、特に外科系に進む予定があれば、倉敷成人病センターの産婦人科研修で得られるものは大きいと思います。リウマチ科のローテートでは、不明熱や皮疹等、鑑別の難しい症状の患者さんも多く、問診や身体診察、検査の選び方やデータの見方など、ジェネラルな診療能力を養う上で大変勉強になりました。学会発表も1年間に3回経験し、熱心なご指導のおかげで、ある学会で優秀演題賞をいただくことができました。有意義な研修ができる環境です。ぜひ見学にお越しください！



(取材時:2018年)

### 病院見学

1日コース 2日コース

で気軽に見学できます

1日コースの流れ(例)

- 10:00 外来見学
- 12:00 先輩研修医とランチ
- 15:00 手術見学
- 19:00 倉敷美観地区で懇親会

お問い合わせ先は裏表紙をご覧ください

### さまざまな経験ができます

協力型臨床研修病院

- 万成病院(精神科)
- まび記念病院(地域医療)
- 倉敷中央病院(救急医療)
- 川崎医科大学附属病院(救急医療)
- 水島中央病院(救急医療)

臨床研修協力施設

- むらかみクリニック(地域医療)
- つばさクリニック(地域医療)
- 八王寺内科クリニック(地域医療)
- 哲西町診療所(地域医療)

当院が協力する病院

- 岡山大学病院
- 川崎医科大学附属病院
- 岡山協立病院
- 水島協同病院
- 水島中央病院
- 川崎医科大学総合医療センター

当院ならではのメリットをCHECK!

研修医にとって嬉しい処遇がいっぱいです

# 海外への研修旅行から福利厚生まで強力サポート体制!

皆さんの研修中における“日常生活”が充実するよう、倉敷成人病センターでは福利厚生や処遇などのバックアップ体制が整っています。2年間頑張った先には、お楽しみ 海外研修旅行も待っています! 嬉しさいっぱいの2年 間を過ごしてください。

## シンガポールへの研修旅行

研修修了前には海外(シンガポール)研修旅行を実施! 当院の関連施設であるJGH(ジャパン グリーン ホスピタル)を視察し日本と海外の医療情勢を肌で感じることができます。また、自由時間には、お楽しみの観光も!



JGHが入る PARAGONビル▶

訪問先はこちら

ジャパングリーンクリニック  
<https://www.japan-green.com.sg/>

▲市内観光で思い出づくり!

## ✈ 研修医「旅行記」

2年間の研修も終わりに近づいた2月中旬の5日間、シンガポールへ行きました。在住日本人は3.5万人とされていますが、シンガポールJGHはそのような方達に対して、日本と同等の医療を提供することを目的に造られた医療施設です。病気になった時、文化も言語も違う国で自分の状態を伝えることはとても難しいです。国際社会において、日本語で受診できる日本人スタッフによる医療施設は、大変重要な役割を果たしているのだと実感しました。一医療人としてだけでなく、一社会人としても大きな視野を持つ貴重な経験となりました。

研修医より

## 職員食堂は350円で毎日ビュッフェ!

健康派もガッツリ派も大満足の食堂(ビュッフェ形式)。クリスマスにはローストビーフが登場するなど人気です。また、レストランがある9階からの展望も最高なので、ホッとひと息!



## 図書室を完備

学術雑誌(和雑誌・洋雑誌)などを貸出・閲覧できる図書室。スマホから閲覧可能な電子ジャーナルも導入しています。



## 自由参加の部活でリフレッシュ!

スポーツを通じた交流はいかがですか? 陸上、ゴルフ、バスケ、バレーと多彩です。また「倉敷天領夏祭り」への医師参加者も募集しています。



## 研修医ながら学会受賞歴が多数!



各分野のエキスパートが直接指導する当院は、研修医の成長度も抜群。積極的に県内外の学会へ参加し、先輩研修医(複数名)は研修医奨励賞を受賞しています。もちろん、学会費用補助も付きます!



## 働くママさん・パパさんを応援

研修医の皆さんを含む職員の子どもの対象とした院内保育園を完備。子どもが病気のときは、育児支援もあります。



## 皆さんをバックアップします



## 処遇

- ・住宅補助
  - ・引越手当
  - ・保険各種
  - ・福利厚生など
- (詳細は別紙/募集要項をご覧ください)



健康経営優良法人2019 (大規模法人部門)~ホワイト500~に認定されました。

# 各科紹介

幅広い診療部門それぞれに、研修医の皆さんが治療や診断の過程をたっぷり学べるよう、スペシャリストから直接指導や助言を受けられる指導体制を準備しています。

サブスペシャルティーを持つGPを目指して、  
はじめの一步！

## 内科

当院の内科は、糖尿病・内分泌疾患、common diseaseの一次診療、二次健診を中心とした診療に携わっています。糖尿病診療は、糖尿病専門医・内分泌代謝科専門医・糖尿病認定看護師・療養指導士を中心としたチーム医療のもと、2,000人以上の患者さんに対する外来診療、教育入院、妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠、周術期管理など、**数・バリエーションともに豊富な症例を経験**することができます。また、ウォークイン・地域医療機関からご紹介いただく症例には、幅広く対応できるよう総合内科外来・入院診療、対処困難な重症例は、3次救急・高度急性期病院にご協力いただきながら診療にあたっています。倉敷成人病健診センターや地域の健診機関からは、生活習慣病・消化器疾患を中心に、幅広い分野で二次健診症例を受け入れています。このように、**幅広い症例の“トリアージ”を行う地域医療としての修練を行いながら“common diseaseに対応できる内科総合力”を培い、当科の得意とするサブスペシャルティーで専門性を深めることを目標**としています。各科・部門の垣根を越えて、**各々の希望により専門医師・技師による内視鏡検査・超音波検査など基本的な診断技術のトレーニングを行うことができ、将来のGP (General Practitioner)・内科系専門医、いずれを目指す医師にも“はじめの一步”としてサポートいたします。**

肝臓病のあらゆる病態に対応できる医師へと飛躍

## 肝臓病治療センター

地域の患者さんの最終拠点となる当センターは、診断できなかった病気を診断し、治療できなかった病気を治療することで、地域の患者さんに貢献したいと考えています。肝臓病領域においては、**診断・治療に多くの検査手技やインターベンション治療が必要なため、これらの手技の習得が必要不可欠**です。また、**緊急処置や研究課題も数多く存在**するとともに、技術の進歩も目まぐるしく、個々の積極的なチャレンジが必要となります。「患者さんのために」「社会のために」そして「自分のために」積極的にチャレンジする研修医を歓迎します。

# “医師人生”を踏み出す最初の一步で、 自身の可能性を最大限に広げる経験を!

豊富な症例、充実したスタッフ、  
優れた臨床研究

## リウマチ膠原病センター

当院では、整形外科、リウマチ認定看護師、リウマチ認定薬剤師、リハビリテーション科と連携をとりながら関節リウマチをはじめ全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、皮膚筋炎/多発性筋炎、混合性結合組織病、ベーチェット病、シェーグレン症候群、血管炎症候群などの膠原病および膠原病類縁疾患を幅広く診療しています。生物学的製剤の登場により、リウマチ膠原病の薬物治療はこの数年で大きく変化し、リウマチ系内科医のニーズが高まっていますが、当センターはリウマチ専門医・指導医の資格をもつスタッフによる丁寧な指導を受けることができる病院です。**研修医は各種学会で若手奨励賞やトラベルグラント賞を受賞するなどの成果を挙げ、また国際共同の臨床研究でシェーグレン症候群疾患活動性指標の作成に協力し、さらに新しい治療薬の国際共同試験にも参加しています。**岡山県難病医療連絡協議会の協力病院およびOKAYAMAリウマチネットワークの中核病院である当センターは、オピニオンリーダーとして近隣医療機関をリードしていることも特徴です。

分娩数が中国地方トップの当院で学びを深めよう

## 産科 (周産期センター)



当センターは、白壁の町・倉敷を一望できる病棟最上階の8階にあり、産婦人科専門医、小児科医が在籍し、中国地方随一の分娩数を誇っています。2018年は年間1,481件、そのうち帝王切開は279件でした。NICUの収容制限のため当センターでの出産は妊娠34週以降の症例に限られますが、**研修医の皆さんは、正常分娩の管理・介助はもとより、帝王切開をはじめとする産科的異常、新生児蘇生法の習熟、新生児の管理など数多くの症例を経験し、周産期診療に関する基本的理解を深めることができます。**

飛躍著しい網膜硝子体疾患の  
治療・硝子体手術と共に歩もう

## 眼科

地域医療としての眼科**一般治療はもとより、特に網膜硝子体疾患、および黄斑疾患に高い専門性**を持ち、**黄斑疾患から重症の増殖糖尿病網膜症、増殖硝子体網膜症までにわたり最終拠点として最先端の医療提供(診断・治療・手術)を行っています。**硝子体手術は全例で低侵襲手術である25Gもしくは27GのMIVSを施行。治療することが可能となった加齢黄斑変性では、抗VEGF抗体治療とPDT治療を軸に最新の治療方針で行っています。また、2018年より緑内障に対しての手術治療も本格稼働しました。年間の手術件数は約2,500件以上で、網膜硝子体手術は年間400件以上、単独白内障手術は年間2,000件以上、年間1,600件以上の抗VEGF治療を行っています。



日本トップレベルの腹腔鏡下手術を間近で!

## 婦人科

当院には、日本産科婦人科内視鏡学会の技術認定医7人(ロボット手術ライセンス取得6人)が在籍しており、婦人科腹腔鏡下手術は**良性および悪性疾患、緊急疾患まで年間1,600件以上(内ロボット手術200件)**行い、日本トップレベルの技術と件数を誇っています。特に**妊孕能温存を希望される子宮頸がんの患者さんに対する「腹腔鏡下広汎子宮頸部切除術」など特殊で難易度の高い手術**もあり、日本全国から手術を希望される患者さんが多く受診されるのも特徴です。また、がん化学療法も年間500件行い、ターミナル期まで誠意を込めて診察しています。さらに、**特殊外来として更年期外来も**行っています。産婦人科医19人(2019年4月現在)のうち7人が30代。**症例数に恵まれた環境で、世代も近く頼り甲斐のある先輩医師とともに、活発な雰囲気の中で十分な研修が行えます。**





多数で豊富な症例で生殖医療の実力を付ける

## 体外受精センター

当センターは体外受精、顕微授精、凍結胚移植など、生殖補助医療を中心に挙児を目指しています。年間約400例の採卵と約270例の新鮮胚移植、約500例の凍結胚移植を行い、約150人の児を得ています。その他、人工授精や自然妊娠タイミング指導などでもおり多数の分娩例を得ています。研修は卵胞発育の超音波診断、ホルモン値の評価、採卵時期決定法、採卵手技、胚発育の評価、胚移植の手技、着床の評価、産科に移るまでの妊娠初期管理、流産や子宮外妊娠の診断と手術、その他多岐にわたり、豊富な症例の中で生殖医療を学ぶことができます。

地域に欠かせない  
特色ある小児医療現場で手厚い指導を！

## 小児科

当院は小児科専門医・小児神経専門医の臨床研修指定施設で、小児神経疾患の患者さんがとても多いのが特徴です。小児神経領域では周産期障害や染色体異常などの先天性疾患、脳炎や脳症などの後天性の運動障害や知的障害、てんかん、発達障害などのお子さんを多く診察しています。てんかんの薬物治療を行っている患者さんも多いのですが、最終的に薬物治療を終了できる場合も多く、ご家族とも力を合わせて頑張っています。また、当院では発達障害の分野に特に力を注いでおり、医学的診断、作業療法士や言語聴覚士による院内個別療育、臨床心理士による心理カウンセリングなど、さらには院外の教育機関や療育機関などとも連携して診療を行っています。さらに、当院の周産期センターでは約1,500人を超す児が出生し、周産期の多彩な疾患を経験することができます。

診断・手術手技・化学療法の習得でぐんぐん成長！

## 外科

当院では、心臓・血管外科以外の外科治療を行っており、定期的な内科、放射線科、外科合同カンファレンスで術前・術後の症例検討を行い、高度な医療提供や各医師のレベルアップを図っています。乳がんでは手術・化学療法・放射線治療を、肝がんではラジオ波治療・手術などの集学的治療を行っています。また、鼠径ヘルニア・消化器がん・胆石症・肺がん・気胸などへの鏡視下手術の積極的導入など、手術の質を落とさず、体に優しい治療を目指しています。さらに、術前・術後化学療法、緩和医療なども行い、診断から終末期まで幅広い治療を提供しています。外科専門医制度においては、岡山大学病院・倉敷中央病院を基幹病院とするそれぞれの岡山大学広域外科専門研修プログラム・倉敷外科専門研修プログラムの連携病院として参加しています。また、日本消化器外科学会認定施設、日本胆道学会指導施設、日本乳癌学会認定施設であり、それぞれの専門医を目指すことができます。



幅広い診療分野・世界水準の技術を  
貪欲に吸収できる！

## 泌尿器科

当科の特色は何といても多岐にわたる診療分野です。泌尿器悪性疾患、尿路結石症、前立腺肥大症のメジャー分野はもちろん、骨盤臓器脱、尿失禁、勃起障害、男性更年期障害、神経因性膀胱、尿路外傷、内分泌疾患（副甲状腺・副腎）など、様々な疾患に対してスタッフ全員がスクラムを組んで診療にあたるため、研修医にとっても大きく刺激を受ける環境であるといえます。特に尿路結石治療はESWL、2台のホルミウムレーザー装置を有し、あらゆる難治性結石に対応できる世界水準の技術を学ぶことができます。また、腹腔鏡技術認定医2人をおかけ、外科、婦人科ともタイアップし、充実した内視鏡治療を行える環境が整っています。月曜日から金曜日に行う症例カンファレンス、内視鏡手術DVD検討会、病理検討会、抄読会を通じて日々の研鑽を積むと同時に、いつでも上級医に相談できるなど、最良の研修環境で、幅広い知識と経験を身に付けることが可能です。また、2013年9月に内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入し、最先端の医療も行っています。当院には、二つの操作盤が設置されており、術者と同じ3D画像を複数の医師で共有することができるため、研修医の育成や指導に役立っています。

リウマチ指導医・専門医から直接指導を受け、  
進歩する自分を実感！

## 整形外科

当科は、関節外科、手の外科、足の外科、脊椎外科、運動器外傷など、運動疾患に関わる広い分野の研修があり、興味が尽きることがありません。治療部位は頭部を除く全身に及んでおり、患者さんの年齢も新生児から高齢者まで、あらゆる層にわたります。保存療法にせよ、手術療法にせよ、治療の結果が直ちに目に見える形で表れるのも整形外科の特徴です。ごまかしの利かない職人芸だともいえますが、それだけにこの世界に飛び込めば一生進歩していく自分と出会えると思います。特に、倉敷成人病センター整形外科の特徴としてリウマチ性疾患が多く、内科系外科系合わせて5人のリウマチ指導医、7人の専門医から指導を受けられるメリットは大変大きいものです。



呼吸・循環管理を学び、応用する

## 麻酔科

当院では年間6,000件以上の手術が行われており、そのほとんどが日中に定期手術として集中しています。大変忙しい手術室ですが、麻酔科が主体となってこれらの手術が効率よくかつ安全に遂行できるよう、周術期の患者管理と手術室運営マネジメントを行っています。麻酔科研修では年間3,000件以上の麻酔科管理症例を通して、気管挿管を主体とする気道確保、末梢静脈や中心静脈などのルート確保を徹底的にトレーニングし、実際に麻酔管理に携わって呼吸・循環管理の知識、技術の習得にあたります。また、麻酔管理で学んだ呼吸・循環管理の知識を基に、HCUでの各種ショック患者、呼吸不全患者などの治療に従事し、重症患者の診方ならびに各科との治療連携を通してチーム医療のあり方についても学びます。当院の特色は一人の研修医が体験できる症例数の多さにあります。大病院のように豊富な症例内容には少し及びませんが、十分な症例数で研鑽を積み、臨床医として必要不可欠な患者全身管理、さらにはその応用としての患者急変時の対処法を体得してください。

画像診断とIVRをみっちり！

## 放射線科

当科では80列のマルチスライスCT1台と1.5TのMRI2台、RI装置1台を有しており、多くの症例画像を見ながら実際に診断レポートを書いてもらい添削形式でマンツーマンの指導を受けられます。また他科とのカンファレンスも多くあり、臨床と画像診断の関係についても学ぶ機会は多く、将来どの分野でも必要な、画像診断を体得することが可能です。IVRには血管系、非血管系があり、それぞれ希望に応じて手技の経験ができます。当科の特徴としてUAE（子宮動脈塞栓術）が比較的多く、また穿刺部位に関しても経橈骨動脈アプローチを第1選択としています。UAEでは指導医と共に入院管理について学ぶことが可能です。

皮膚症状を手がかりに  
全身を診る医師を育成！

## 皮膚科

皮膚に異常があればすべて対象であり、多岐にわたります。膠原病などの全身疾患に伴う皮膚病変もあり、他科との連携をとりながら診療を行っています。卒後臨床研修では皮膚科の診療において、最も重要でかつ基本的な視診および触診、真菌検査・パッチテスト・皮膚生検・細菌検査などの基本的な検査法、外用療法・液体窒素・光線療法などの治療方法、救急外来でよく出会う疾患などを中心に経験することができます。

病理診断科にて豊富な症例の経験を

## 病理診断科

当院はベッド数に比し、手術数が大変多く、種々様々な症例を経験することができます。年間組織診断約5,500件、術中迅速診断約100件、細胞診検査約30,000件ほどあります。病理専門医、研修指導医、細胞診専門医、教育研修指導医である常勤医2人と非常勤医、そして国際資格を持つ細胞検査士8人を含む臨床検査技師11人のスタッフにて最良の医療を提供できることを目指し業務を行っています。病理診断は全身臓器について行うので、全身の疾病に対する理解を得るには大変役立ちます。また、各病理医に質問や学会発表等の指導を受けることができ、他科とのカンファレンスで広い分野の知識を得ることが可能です。



各科のスペシャリストに学ぶ2年間を、  
研修医を育てる風土が根付く倉敷成人病センターで。

見学情報、当院へのアクセス他  
研修医特設ページはこちら  
<http://www.fkmc.or.jp/resident>



一般財団法人  
倉敷成人病センター  
*Kurashiki Medical Center*

〒710-8522 岡山県倉敷市白楽町250

【研修に関するお問い合わせ】

卒後研修センター

TEL 086-422-2111 FAX 086-422-4150

E-mail : [kmc\\_resident@fkmc.or.jp](mailto:kmc_resident@fkmc.or.jp)

<http://www.fkmc.or.jp/resident>